

## キャッシュレス決済ポイントバック事業

アナ： 「市長が語る 2022 三島」第 22 回の今日は、「キャッシュレス決済ポイントバック事業」についてお話を伺います。

豊岡市長、よろしくお願いいたします。

市長： よろしくお願ひいたします。

アナ： 「キャッシュレス決済ポイントバック事業」は、新聞などでたびたび見かけることもありますが、どのような目的で実施されるのでしょうか。

市長： はい。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言等により、これまで、市内の事業者は幅広い業種において大きな影響を受けております。

それに加えて、昨今の原油価格の高騰や物価の上昇等により、更なる経営環境の悪化に直面していることが考えられます。

そこで、キャッシュレス決済を活用したポイント付与を通じて市民の皆様の消費喚起を促すことで、市内事業者の皆様を支援するとともに、コロナ禍での新しい生活様式に対応したキャッシュレス決済の一層の促進を目的として実施するものでございます。

アナ： 昨年度の PayPay との連携事業も記憶に新しいところですが、今回は具体的にどのような内容になるのでしょうか。

市長： 前回と比べ、より魅力的になった点といたしまして、今回の事業では、4種類のキャッシュレス決済サービスが対象となり、市民の皆様、事業者の皆様双方にとって、より利用の幅が広がり、参加しやすくなることが挙げられます。

アナ： なるほど。今年度は4つのキャッシュレス決済サービスが利用でき、参加へのハードルが低くなるということですね。

この4つの決済サービスは具体的に何になるのでしょうか。

市長： はい。4つの決済サービスは、d払い、auPAY、楽天ペイ、楽天Edyとなります。

今回は、電子マネー決済サービスの「楽天Edy」も対象に含めまして、スマートフォンをお持ちでない方にも参加いただける事業となっております。

アナ： より多くの方が利用できる内容になっているということですね。

ところで、皆さんが一番気になるポイントの付与率などを教えていただけますか。

市長： 今回の事業は、市内のほぼ全ての業種が対象となりますが、その中でもコロナ禍などの影響をより強く受けている中小事業者の皆様には、

強力に後押しするため、上乘せ支援を考えております。

具体的には、大手事業者ではポイント付与率が10%、1回の決済における付与の上限が1,000円分、期間内の付与の上限が2,000円分であるのに対しまして、中小事業者ではポイント付与率が30%、1回の決済における付与の上限が2,000円分、期間内の付与の上限を4,000円分といたします。

アナ：なるほど、よくわかりました。最後に、実施時期について教えてください。  
また、市民の皆様へのメッセージがありましたらお願いします。

市長：今回のキャッシュレス決済ポイントバック事業は、令和4年11月1日から11月30日までの1ヵ月間にわたり実施を予定しております。

市民の皆さん、ぜひこの機会に、この事業を通じて市内店舗でのお買い物やお食事を楽しんでいただき、市内事業者の皆さんを応援していただければと思います。

そして、市民、事業者の皆さんの力で市内の経済を活性化させ、三島市をさらに活気やにぎわいのあるまちにしていきたいと思います。

アナ：私も今から11月が楽しみです。  
豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長：ありがとうございました。